

ちくごがわ
筑後川水系

ごんげんたにがわ
権現谷川

(砂防事業)

1. 事業概要

1) 流域の概要

ごんげんたにがわあさくらつつみ
権現谷川は、朝倉市堤に位置し、一級河川筑後川水系佐田川へ流下する、現況溪床勾配10.1°
(1/5.6)の急渓流である。

2) 事業の必要性

権現谷川は、土石流危険渓流であり、保全対象には人家、事業所、市道、耕地などがある。溪床は、風化片岩を主体としており、中上流域では崩壊地形が確認され、中流域～谷出口においては土砂流出が生じている。土砂災害が発生した際には、家屋の流出など甚大な被害が発生する恐れがあるため、早期に砂防施設を整備し、被害を未然に防ぐ必要がある。

なお、本箇所は地域防災計画において、整備の対象に位置付けられている土砂災害警戒区域に指定されている。

3) 事業により期待される効果

○土石流による土砂災害からの保全

保 全 人 家 : 34戸
保 全 公 共 施 設 : 市道

2. 現在の状況

土 砂 災 害 防 止 法 : 土砂災害警戒区域等の指定済(令和3年3月19日告示)
現 況 溪 床 勾 配 : 10.1°(1/5.6)

3. 計画内容

箇 所 名 : 朝倉市堤
流 域 面 積 : A=0.11km²
整 備 内 容 : 砂防堰堤 N=1基
全 体 事 業 費 : C= 3.7 億円
事 業 着 手 年 度 : 令和 6年度
完 成 目 標 年 度 : 令和11年度
費 用 便 益 比 : 6.1

4. その他特記事項

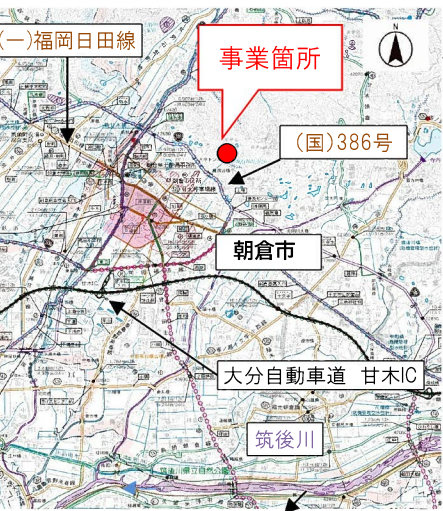
・事業に対する要望・協力体制

要 望 書 : 地元自治会からの要望(平成29年6月)
朝倉市からの要望(平成29年7月)

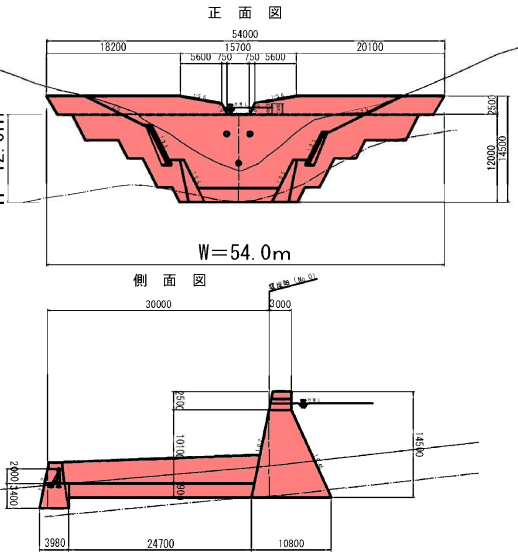
【位置図】



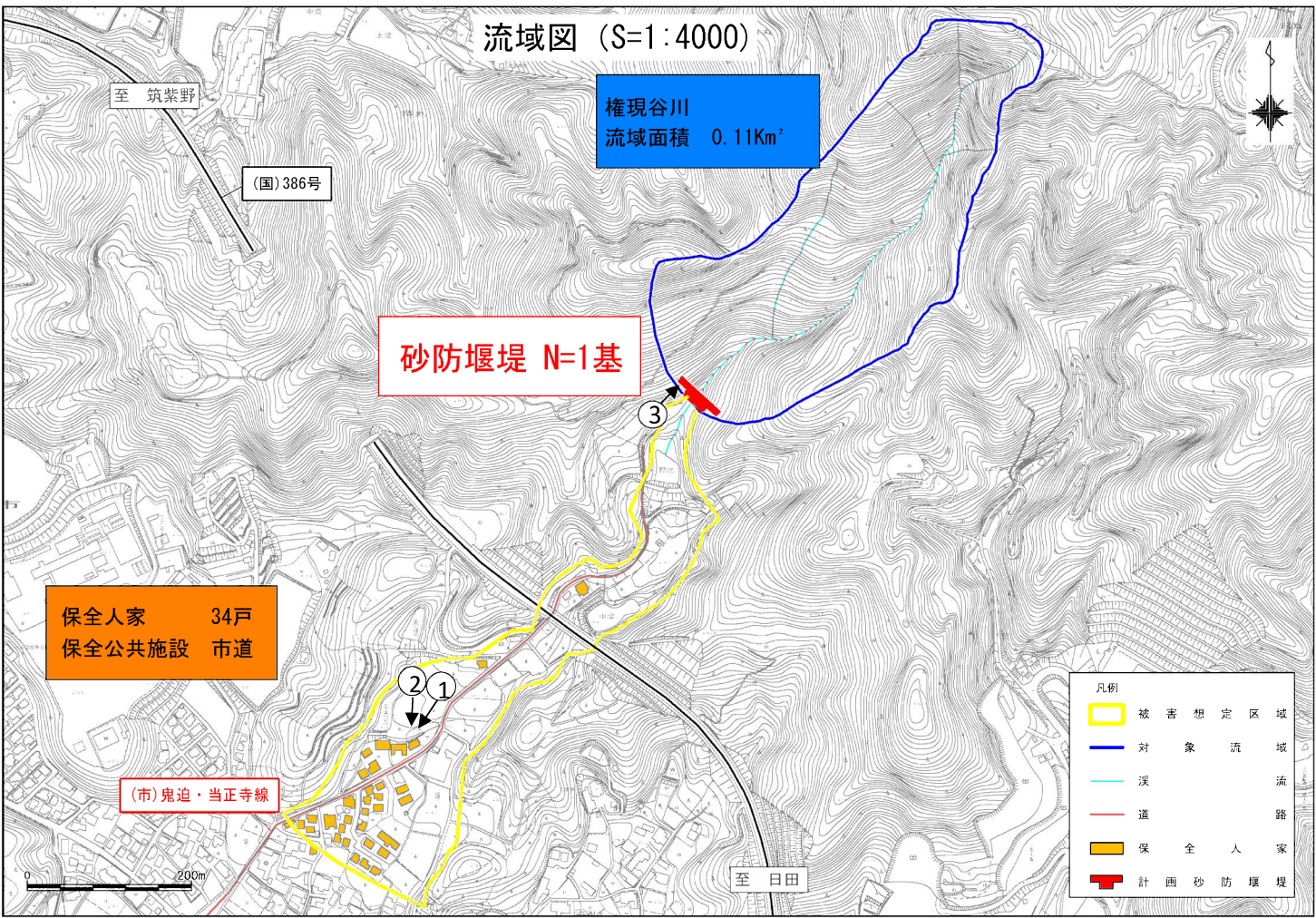
【管内図】



【構造図】



【事業概要図】



【現況写真】

①公共施設(市道)



②保全人家



③渓流の状況

